

- のぞましい婦人団体のあり方
- 地域におけるボランティア活動の進め方

### ③ 演習

- 婦人教育活動を進めるための学習内容と方法
- 会議の進め方

### ④ 実技研修

- レクリエーション実技
- キャンドルのつどい

### ⑤ コース別研修

### ⑥ レクリエーション、交歓会

### ⑦ ホームワーク

## 8 婦人教育調査

### (1) 趣 旨

ボランティア活動の促進を図るため、昭和47年度より継続実施した「婦人ボランティア活動に関する学習と実践」についての反省、評価を行うとともに地域における実践事例を中心として指導資料を作成し、今後の婦人教育の振興を図る。

### (2) 調査の主題

「婦人ボランティア活動に関する実践状況の調査」

### (3) 調査の対象

県内に居住する20歳～60歳の婦人 1,500名

### (4) 調査期間 10月～1月

### (5) 調査に当たった者

- ① 調査指導、助言者…各教育事務所の婦人教育担当者が管内における調査実施全般について指導、助言に当たる(7名)
  - ② 調査員…福島県婦人教育指導員が直接調査に当たる(16名)
  - ③ 資料編集委員…県内婦人教育指導者の代表をもつて構成し、調査結果について研究分析し資料の編集に当たる(10名)
- ※調査協力員…調査対象地区公民館職員並びに県内婦人有志指導者

### (6) 調査の方法

- ① 地域類型対象を○農村、○商店街、○住宅街、○都市近郊地域(新興住宅団地を含む)とする。
- ② 調査員並びに協力員等を中心とする面接調査による。
- ③ 調査の手順…調査協力員、調査員→調査指導、助言者→資料編集委員を経て結果を考察する。

### (7) 調査内容

「地域におけるボランティア活動の実践例と反省及び評価」状況の調査

—— 婦人学級、婦人団体、グループ ——

### (8) 調査結果

- ① 資料編集委員会をもうけ、調査結果を分析して、県内における婦人ボランティア活動促進のための資料とする。
- ② 調査結果を集録して関係者に配布し、婦人教育振興のための資料として活用する。

### (9) 備 考

調査結果については婦人教育資料「婦人ボランティア活動のまとめ——反省、評価編——」を参照のこと

## 9 県研究婦人学級

### (1) 趣 旨

婦人教育の学習機会の増大と、学習内容の充実を期するため、昨年に引き続いて、婦人教育活動の各分野にわたり、自発的な活動を促進援助するための中心的役割をになう婦人ボランティアの養成のため、ボランティア活動に関する学習内容、方法の研究を委託し、地域における波及効果を図る。

### (2) 研究主題

「婦人ボランティア活動に関する学習内容、方法の研究」

### (3) 委託の対象 市町村教育委員会

### (4) 委託の期間 昭和51年6月1日～昭和52年2月28日

### (5) 学習時間 20時間以上

### (6) 委託の条件 委託の経費として1学級当たり県費50,000円を交付する。

### (7) 委託の方法 各教育事務所より推薦され、希望する学級のうち適当と思われるものを委託する。

### (8) 委託学級名

- 安積町西長久保婦人学級
- 只見しゃくなげ学級
- 飯館村上飯樋婦人学級

## 10 県研究婦人学級研究協議会

### (1) 趣 旨

県研究青年、婦人学級の開設に当たり、その適正な運営を期するため、設置の趣旨について理解を深めるとともに学習の進め方や事務の扱い方について研究協議する。

### (2) 期日・会場

- ① 期 日 昭和51年5月28日(金)
- ② 会 場 県庁本庁舎 4階小会議室

### (3) 参加者

昭和51年度県研究婦人学級事務担当者 3名  
(各学級より1名 県研究青年学級と同時開催)

### (4) 内 容

- ① 指 導…「研究学級における指導の重点」
- ② 研究協議…「委託に伴う学習の進め方、並びに学級の運営」
- ③ 事務連絡…「委託に伴う事務について」

## 11 福島県婦人教育指導員の設置

### (1) 趣 旨

婦人教育の重要性にかんがみ、県教育庁教育事務所に婦人教育指導員を置き、婦人教育全般の振興を図る。

### (2) 昭和51年度福島県婦人教育指導員

管 内	氏 名	住 所
県 北	梅 津 絹 子	福島市上名倉字瀬川22-3
"	佐々木 淑 子	伊達郡靈山町大字掛田字金子町6
"	竹 内 フ サ	二本松市塩沢町1の223
県 中	阿 部 ハルエ	郡山市字菜根1-10-27
"	坂 井 マサ子	須賀川市字弘法壇25-2
"	仲 本 セ ン	石川郡石川町字境の内268